

特集 ジャズ喫茶の楽しみ方

日本の音楽文化、中でもジャズ・カルチャーを育ててきた要素の一つにジャズ喫茶があります。ジャズを聴くための喫茶店、ジャズ喫茶。日本にしかないオリジナルな文化です。でも、何となく敷居が高くて、入りにくいイメージがあるのも事実。とはいえ、ジャズとコーヒーの相性は抜群。時代を超えた名プレイヤーたちの名演奏を聴きながらコーヒーをいただく。贅沢な時間を楽しむことができるのがジャズ喫茶です。

そこでジャズ喫茶未経験のあなたのために、その楽しみ方をお教えします。ちょっと勇気を出して、あなたもジャズ喫茶へ行ってみませんか。

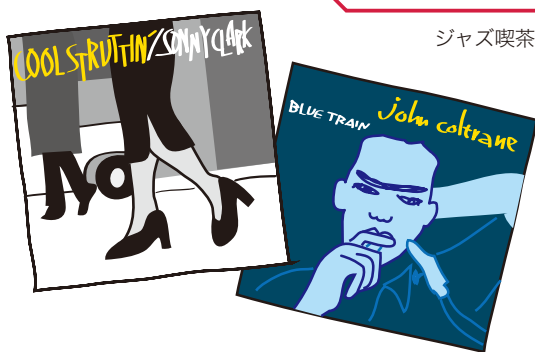
ジャズ喫茶とは？

ジャズ喫茶の歴史は古く、1929年（昭和4年）東京大学赤門前の「ブラックバード」が最初だと言われています。戦前の輸入レコードしかなかった時代、高度成長期以前のレコードが高価で一般人には買えなかった時代など、あらゆる時代で、本物のジャズを求めるファンに答えてきました。ジャズ喫茶は1950～60年代、モダンジャズの発展に伴い日本全国に広がり、その後、ロックの流行により店数を減らしますが、近年ではカフェ・スタイルの新たなお店も増えてきています。



ジャズ喫茶の2大要素

ジャズ喫茶は、音楽鑑賞がメインです。そこで次の二つの要素が重要となります。

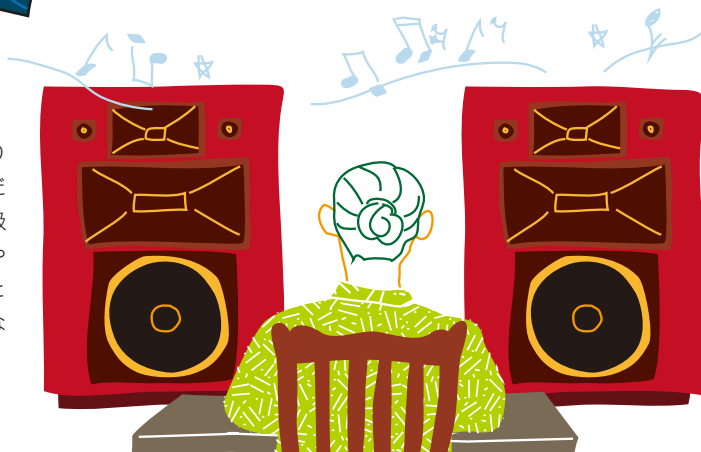


◆アナログ・レコード

何よりレコード・コレクションの充実が基本です。モダンジャズの黄金期が1950～60年代ということで、基本はLPレコードとなります。コレクションの枚数は、千枚単位は当たり前。再発盤や日本盤ではなく、全てアメリカ初版オリジナル盤、戦前のSP盤も揃えている博物館級のお店もあります。

◆オーディオ・セット

ジャズ喫茶の音楽はBGMではなくじっくり聴き込むもの。ゆえにオーディオ機器にこだわったお店も少なくありません。海外の高級機器はもちろん、手作りの巨大スピーカーや真空管アンプ、さらには1メートル数万円というケーブルなど、「生音よりもいい音ではないか!？」といったお店もあるとか。



ジャズ喫茶のマナー

通常の喫茶店はコーヒーを飲み、仲間とおしゃべりを楽しむところですが、ジャズ喫茶は音楽=ジャズを聴くところ。そこで、「ジャズ喫茶ならではの」マナーがいくつかあります。ですが、そんなにナーバスになる必要はありません。あくまで「他のお客さんのジャマをしない」ということです。



1. 基本は「黙って聴く」

ジャズ喫茶は、ジャズを聴くことがメイン。レコードがかかっている間はおしゃべりしないことが基本です。最近は「会話厳禁」というお店は減ってきました。とはいえ、大声でのおしゃべりは慎みましょう。また、携帯はマナーモードにしておきましょう。

2. リクエストしてみよう

ジャズ喫茶の楽しみの1つにリクエストがあります。まだ聞いたことのないアルバムや入手困難な幻の名盤などをリクエストしてみる。新たな名演・名プレイヤーとの出会いが待っています。お店によっては「リクエスト・ノート=レコード・リスト」が用意されているので、ぜひ活用してみてください。*なお、一部リクエスト不可のお店もあります。ご確認ください。



3. 長居をしたら、もう1杯

コーヒー1杯で極上のジャズを楽しめるジャズ喫茶。音楽に集中していると、ついつい長居をしてしまいがちです。2時間経ったらもう1杯あるいはもう1品を注文しましょう。あなたのその「もう1杯」が、日本独自の文化・ジャズ喫茶を後世に繋げていくのです!?

ジャズ喫茶のマナーについて、ざっとご説明いたしました。
上記の点に留意すれば、誰でも案外自然とその場になじめます。
さあ、明日はお気に入りのジャズを見つけるお店巡りに出掛けませんか？

世田谷区内の主なジャズ喫茶

マイルス/Miles (1960年開店) 松原 1-37-14 3321-9431

ラグタイム/Rag Time (1978年開店) 南鳥山 5-17-13 3309-1460

ジャズと喫茶 囃子/Jazz.Kissa.Hayashi (2017年開店) 北沢 2-9-22 EIKOビル 3F 5738-7107 など

次号予告 **せたがやジャズ喫茶ガイド** ジャズ喫茶の基礎知識を得たら、次は実際にジャズ喫茶体験です! 世田谷区内の素敵なお店を紹介します。